昨年5月に崩落した石垣の復旧に向け、今年4月より開始した修理工事の現況をお知らせします。

石の積み直し作業

壁石垣は、崩落した93石とその周囲の約50石の積み直 しを実施しています。まず始めに修理範囲(図1の緑線)の 両端で数石ずつ仮積みを行い、石の並び等について4回もの 確認を行った後、1列ずつの積み直しに着手しました。10 月末日時点で下部から4段の積み直しが完了しました。(図1 の黄色部分)

崩落した石材は端が欠けているものもあり、以前の写真等 から上下左右の石のかみ合い方を確認し、よりよい石垣のな らびとなるよう、若干据える位置を手前に引くなどの細やか な調整も行いながら、積み直しを進めています。石と石の隙 間が生じる場合には、詰め石を行います。



また、内部の裏築では、解体時に確認された大きな石材を用いてハンマーでしっかりと組み合 わさるように叩き締めながら、丁寧に積んでいます。

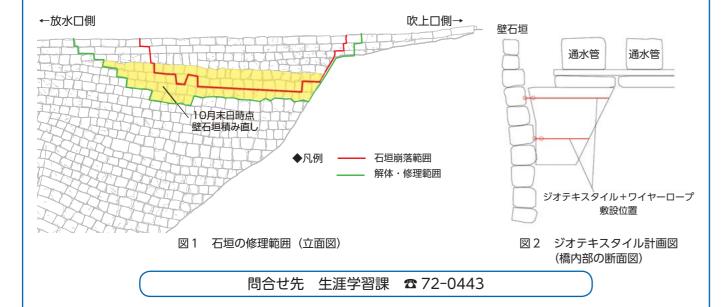
石垣のはらみ出しへの対策

今回の修理範囲(図1の緑線)は、崩落前にはらみ出しが 顕著に確認されていました。そのため、今後の変形への対策 として、裏築の2箇所(2層)に、特殊な合成繊維で作られ た格子状のシート(ジオテキスタイル)を敷き込み、壁石垣 の背面と接続させる工法を実施します (図2)。これは、熊本 城等の修復に導入されている方法を参考としています。また、 はらみ出しの要因となる水への対応として、周辺の雨水等が 橋へ流入することを防ぐ排水対策も実施する計画です。

※裏築・・・通潤橋特有の橋の内部の石積みのこと ※はらみ出し・・・石垣の一部が変形し、ふくらみが生じること



うらつき 裏築の復旧



と30すい先りのの館開がへりい分菅りを謝設りそ田る瀬 けそ11思周がま駆組設棚の通実の強ら断地 す的み置田運後を に絆。なを縁している。 オ営 域 たれ、 披の地へ長開20 な露 木雨 3 らさ

、 芸の お 大 大 大 大 が 大 が 大 が伝が伝 たわ橋

な大おる。出定ご復員し会災いち野見本っ本 様ま今い震ら備九水外対旧の 性し後中災れえ州での応対方 害 る 者たのでらし足違っ量での かって 金 はをへ 思し備都はだうっ東話にま は し 佣 郁 は に う う 泉 前 に ま た れ て い を え 町 多 と 事 て 日 し 対 し 急 た ら し

長 全か

田

【矢部ライオンズクラブに厚生労働

9月10日に熊本赤十字センターにて、矢部 ライオンズクラブに厚生労働大臣の感謝状が授 与されました。これは、献血運動の推進に積極 的に協力し他の模範となる団体を表彰するもの で、矢部ライオンズクラブの長年にわたる献血 事業への協力が評価されました。表彰を受けた



田辺成一会長 は、「長年やっ てきたことが 評価された。 今後ともこれ まで以上に献 血に協力して いきたい」と 述べられまし

表彰を受けた矢部ライオンズクラブの田辺会長

九州横断自動車道延岡線(矢部~蘇陽)の 道路計画を進めるにあたり地域の皆さま のご意見をお聞かせください

「九州横断自動車道延岡線(矢部~蘇陽)」に ついて、地域住民の皆さまを対象としたアンケー ト調査を実施します。

今回、道路整備の計画検討を進めるため、地 域の皆さまが日頃から感じている「道路交通や 地域の課題 | 等についてご意見をお聞かせくだ さい。ぜひ皆さまのご協力をお願いします。

■アンケート対象者

町内にお住まいの方全世帯に配布しています。

■回答の提出方法及び締切

同封しています「返信はがき」にご記入いた だき、令和2年1月31日(金)までに切手を 貼らずに郵便ポストへ投函をお願いいたします。

問合せ先 企画政策課 ☎ 72-1214

広報やまと 2019.11 月号